

### はじめに

世界的な金融危機の引き金となった2008年9月のリーマンショック以降、中国の輸出額は09年1月ごろにかけ大幅に減少しました。そのような中、中国の貿易企業が直面する人民元の為替変動リスクを軽減するため、中国政府は09年7月より、試験的に人民元建てでの貿易決済制度を導入しましたが、今年6月にはその対象国・地域を全世界へ拡大することを発表しました。今回は、これらの人民元国際化の動きについてレポートします。

### 1. 人民元建て貿易決済制度について

近年、10%前後の経済成長率を記録してきた中国は、現在では世界最大の外貨準備を保有し、GDPも日本を抜き世界第2位になることが、もはや確実視されています。このように、経済発展を遂げている中国ですが、これまで人民元による貿易決済は禁止してきました。従って、海外との資金決済は原則外貨建てで行われる為、人民元は基本的に「中国国内でしか流通しない通貨」とされていました。しかし、リーマンショック以降、米ドルやユーロ等主要な決済通貨の為替レートが大幅に変動し、貿易決済における為替変動リスクが増大したことや、周辺諸地域との貿易量が増加したことにより、人民元建て取引による為替変動リスク軽減の必要性及び人民元の国際化の流れを受け、09年7月1日に中国政府より「クロスボーダー、貿易人民元決済試行管理弁法」(以下、本弁法)が公布され、一部の地域と企業に限定されるものの、人民元

( ) 国境を越えての取引

による貿易決済が認められるようになりました。

本弁法では、まず試験的な位置付けとして、上海市、広州市等の5都市と香港、マカオ、東南アジア諸国連合(ASEAN)間での貿易取引について、人民元建て貿易決済が導入されました。対象企業については、5都市の試行地域の省級人民政府が推薦し、6機関(中国人民銀行、財政部、商務部、税関総署、税務総局、銀监会)の認可を受けた企業(365社)のみが、試験対象企業として人民元建て貿易決済を許可されるという限定的なものではありましたが、本弁法により、国際貿易において人民元での契約や決済への間口が大きく開かれることとなりました。

#### <クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法概要>

対象国・地域	香港、マカオ、東南アジア諸国連合(ASEAN)
中国国内試行地域	5都市(上海市、広州市、深圳市、珠海市、東莞市)
対象企業	試行地域内で省級人民政府からの推薦及び6機関の認可を受けた企業(365社)
対象取引	中国本土の対象企業と対象国の海外企業との間の貿易取引(モノの輸出入であり、非貿易取引は含まれない)

(出所)各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成

本弁法における中国国内の試験対象企業と中国国外企業との輸出入貿易に伴う人民元の決済方法については、人民元への交換をどこで行うかにより大きく2つに分けられています。一つは香港・マカオ地区の人民元清算銀行を通して人民元資金のクロスボーダー決済を行う方法(図1)、もう一つは中国国内銀行が国外の参加銀行を代理して人民元のクロスボーダー決済を

行う方法(図2)です。

図1 香港・マカオ地区の人民元清算銀行を利用する場合の人民元資金クロスボーダー決済

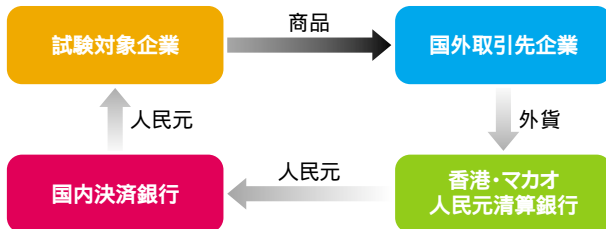
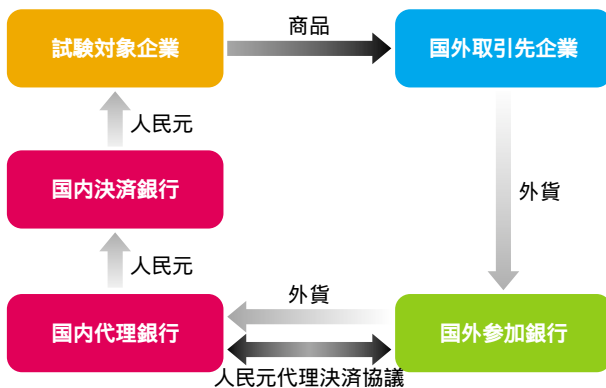


図2 中国国内銀行が国外参加銀行を代理して行う人民元資金クロスボーダー決済



(出所 香港・中国・東南アジア法令情報サイト「NACGlobal.NET」)

## 2. 人民元の国際化に向けての動き

中国人民銀行(中国の中央銀行)によると、人民元建て貿易決済が昨年7月に解禁されてからの約1年間、対象試行地域である上海市での人民元建て貿易決済額は累計で約189億元(約2,470億円)でしたが、その内訳は、168億元(約2,195億元)が商品輸入であり、商品輸出は9億元(約118億円)に留まっています。中国の銀行関係者の話では、現行制度は、制度の対象となる企業自体が限られている上、外国企業側も購入代金として支払う人民元が自国通貨ではない為、保有額も限られているという理由があるようです。また、人民元の先高感も外国企業による人民元建てでの支払いを躊躇させる要因の一つになっているようです。

そのような中、中国では、大規模な公共投資や金融緩和の政策効果による景気過熱や不動産価格の高騰及びインフレが懸念されており、金融引き締め等による過剰流動性の抑制が必要とされています。今年6月に人民元相場の弾力化が発表されましたが、本件は米国との摩擦回避という対外的な要因もさることながら、国内の過剰流動性を抑制し、輸入物価の低下を図ることで、上記の景気過熱や不動産バブル及びインフレ抑制等を促したいとする中国国内の意向によるものが大きいとされています。しかし、その反面、今回の人民元相場の弾力化処置及び中国最大の輸出先である欧州の信用不安により対ユーロでの人民元相場が上昇していることで、中国の輸出企業の業績への影響も懸念されています。

上記による輸出企業の影響緩和策及び人民元の一層の国際化と世界的な信認を高める狙いから、中国政府は、人民元建てでの貿易決済の試験プログラムを大幅に拡大することを明らかにしました。これにより、これまでの5都市の試行地域が、北京市、江蘇省、チベット自治区などの20省・自治区・直轄市に拡大され、対象となる貿易相手先も全ての国と地域に拡大されました。中国人民銀行によると、対外貿易の人民元決済業務は急速に増加し、企業や銀行のニーズも増加していることから、今回の試行地域拡大により、貿易及び投資の利便化が一層促進されるものと期待されています。

## < 人民元建て貿易決済拡大後の概要 >

対象国・地域	全ての国と地域
中国国内試行地域	北京市、天津市、内蒙古自治区、遼寧省、上海市、江蘇省、浙江省、福建省、山東省、湖北省、広東省、広西チワン族自治区、海南省、重慶省、四川省、雲南省、吉林省、黒竜江省、チベット自治区、新疆ウイグル自治区
決済対象の業務範囲	対外貨物貿易、クロスボーダーサービス貿易、その他の経常項目決済

(出所) 各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成

### 3. 今後の見通し

10年1月の中国商務部の発表によると、09年の中国の輸出額は1兆2,017億ドルとなり、ドイツを抜いて初の輸出額世界一となりました。また、輸入額についても1兆56億ドルで、ドイツを上回り世界第2位となる等、近年世界貿易における中国の存在感が確実に高まっています。

(単位: 億ドル)

	06年	07年	08年	09年
年間輸出額	9,689	12,178	14,307	12,017
(対日本輸出額)	916	1,020	1,161	979
年間輸入額	7,915	9,560	11,326	10,056
(対日本輸入額)	1,157	1,339	1,506	1,309

(出所) 中国統計年鑑、海関統計

そのような中、中国企業の為替変動リスクを回避する手段として導入された人民元建て貿易決済ですが、先述の通り実際の人民元建て貿易決済の量は全体的にまだ低調です。その要因としては、これまで外貨建てで貿易業務を行ってきた発想からの転換が進んでいないことや、人民元を調達してもその運用手段が少ないことが指摘されています。

しかしながら、現在日系企業の中には、人民

元の運用手段の一つとして、中国国内に人民元建ての銀行口座を開設し、従前は米ドル建てだった取引先との決済を、新口座を通じて人民元建て決済に変更する動きも出てきています。また、中国ビジネスの資金管理自体を中国本土に移すことで、売上げ等で受取った人民元を支払いに充当することも可能となり、資金管理事務の軽減とともに、通貨交換が不要になることから、為替変動リスクも排除されます。また、人民元での取引を求める中国企業の開拓にも繋がっています。

日本の大手銀行についても、取引先の中国ビジネスの拡大によって増加する決済事務を効率化したいというニーズに対応し、中国現地の指定金融機関と人民元建て貿易決済口座の開設で提携しており、自行の香港支店などを通じて、人民元での中国国内との輸出入に関する受け払いなどを行えるようにしています。上海に拠点を置いている日系の大手銀行では、今年3月、日中間の貿易取引で初めて日系企業の中国現地法人から日本本社への代金支払いにおいて、人民元建てでの決済を成立させました。また、その他大手日系企業も中国現地での人民元建て貿易決済の需要が高まっており、今後も益々増加傾向にあると思われます。

このように、中国市場が拡大するにつれ、今後も人民元の規制緩和と国際化は進んでいくものと考えられています。中国進出企業や中国企業との取引を行っている企業においては、人民元建て貿易決済についての理解を進めておくことが必要となりそうです。

(上海駐在員事務所 田中 正洋)



# 大連のゴルフ事情

## 1. はじめに

日本では、石川プロや宮里プロ等の活躍で再びゴルフ人気が高まっていますが、ここ大連でも人気が出てきています。練習場では順番待ちの姿も見られ、多くの女性や子供達も練習しており、4月にシーズン入りしたゴルフ場では、連日愛好家で賑わっています。今回は、大連のゴルフ事情についてレポートします。

## 2. 大連のゴルフ環境

大連では、現在8カ所のゴルフ場が営業を行っており、さらに数カ所が建設中です。

日本人を対象としたゴルフツアーも数多く生まれ、ゴルフショップや練習場も市内各地に有ります。ゴルフショップでは、日本でもおなじみのブランドの製品も取り扱っていますが、価格は日本より割高です。例えば、本邦有名ブランドの2010年最新モデルドライバーは、日本でのインターネットでの販売価格は5万円前後ですが、大連のあるゴルフショップでは5,848元(約8万2千円)で売られています。また、日本でも高級とされているブランドのドライバーは、3星( )が9,660元(約13万5千円)、4星が15,260元(約21万3千円)、5星が39,060元(54万6千円)と各グレードともかなり高価ですが、かなり売れているとのこと。 ( )星：グレード

練習場の料金も、打席料が15元前後(約210円)の他、ボール代も100球で約50元(約700円)程度必要になる等、価格は日本並みのようです。

冬の最低気温がマイナス15度にもなる大連では、ほとんどのゴルフ場が11月中旬から翌年の3月中旬まで営業を休止しますが、その



ゴルフショップ店内

## 大連市の経済成長、所得の推移

	2000年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
国内総生産(億元)	1,111	1,962	2,150	2,570	3,131	3,858	4,418
大連市在職労働者平均年収(元)	10,956	18,708	22,854	24,204	28,236	34,308	-

(出所)大連統計局、大連統計年鑑、大連市労働局、社会保障局



大連長興島ゴルフクラブ

間愛好家は室内でシミュレーションゴルフを楽しむ等、加熱ぶりが窺えます。

## 3. ゴルフ場の紹介

大連の代表的なゴルフ場として「大連長興島ゴルフクラブ」があります。全長7,121ヤードで海岸線に沿って作られており、ゴルフ発祥の地であるスコットランドのゴルフコースに似ています。砂浜や長いラフ等、自然の地形を生かした設計と、リンクスコース特有の強風が特徴の為、難易度が高く、スコアは日本でプレーするより10打以上悪くなるというプレーヤー泣かせのコースです。

プレー料金(ビジター)は、平日600元(約8,400円)、休日900元(約12,600円)の他、キャディーへのチップが必要となります。大連市民の平均年収が34,308元(約48万円)であることを考えると、まだまだ贅沢なスポーツには違いありません。

しかし、大連市の経済成長と共に、住民の所得水準も上がってきています。所得水準が更に上がることで、大連のゴルフ人口も増えるものと思われます。

## 4. 終わりに

国も言葉も違う大連ですが、ゴルフ人気は日本と同じか、それ以上という印象を受けました。高度経済成長期の日本では、所得水準の向上と共にゴルフブームが起りましたが、現在の大連におけるゴルフ人気の高まりも、当時の日本の状況と非常に似ているようです。今後、大連でゴルフ市場が拡大する可能性は高いと思われます。

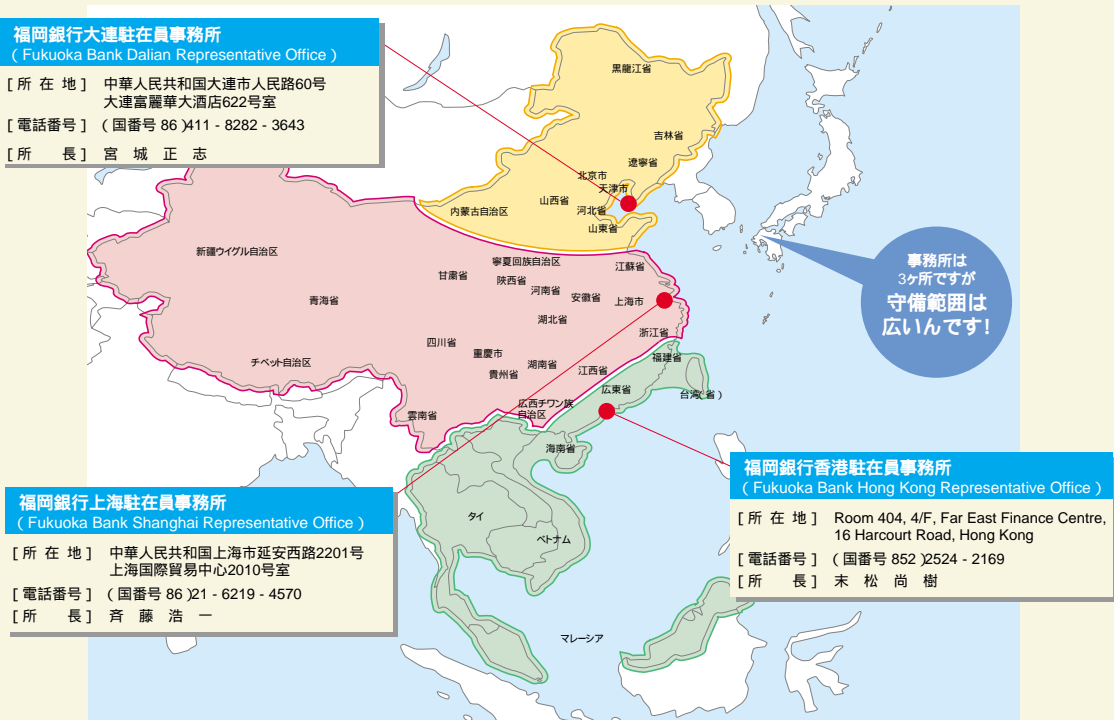
(大連駐在員事務所トレーニー 田中 健康)

# 海外拠点紹介

## 海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

## あなたのいちばんに。



### いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

### いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

### いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

 福岡銀行

 熊本ファミリー銀行

 親和銀行